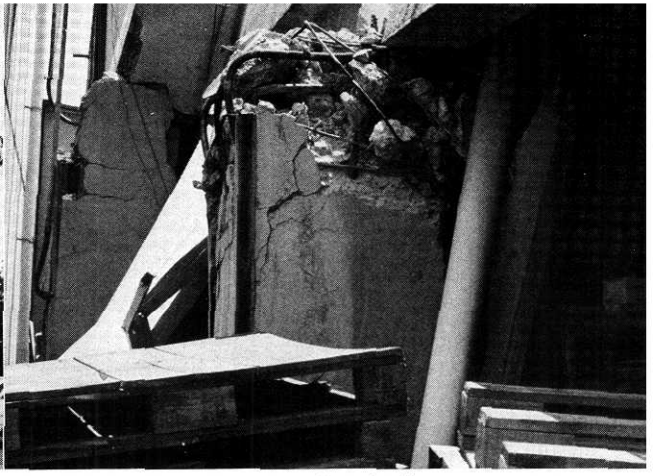




▲ 写真1 4本柱のピロティ建築
1960年代後半の建築

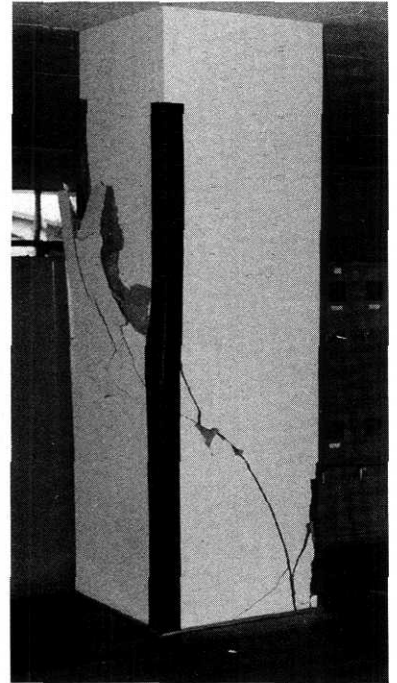
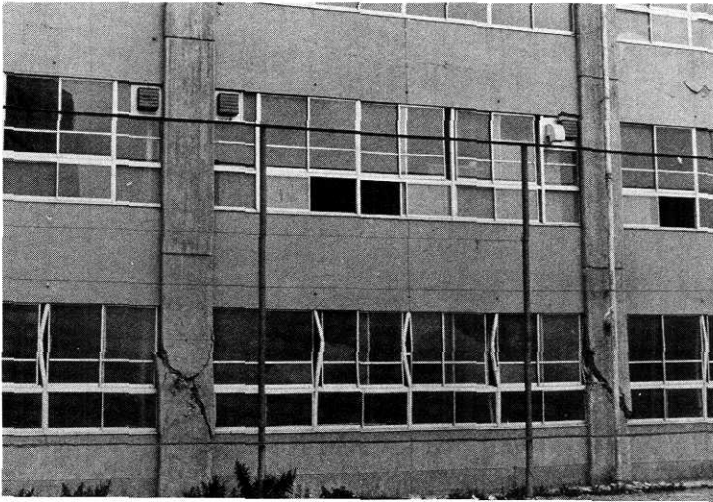


▲ 写真2 写真1の建物の柱の破壊状況

1978年宮城県沖地震による被害

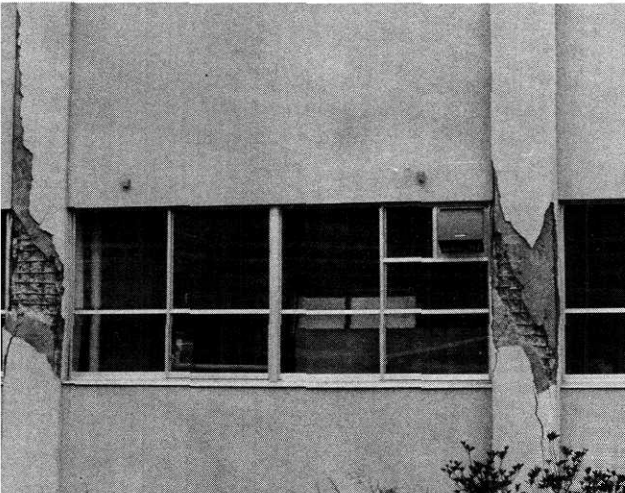
(本文 9～25ページの調査報告参照)

▼ 写真3 学校校舎のせん断破壊の例
サッシュのまがりて床の沈下が想像できる



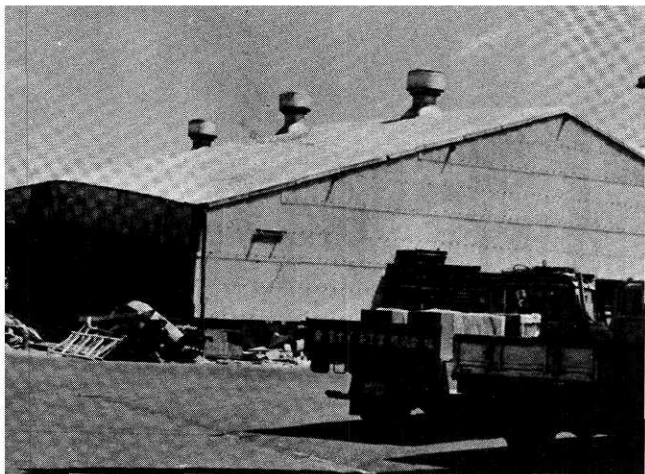
▲ 写真4 写真3の建物の内部の
柱のせん断破壊

▼ 写真5 学校校舎のせん断破壊の別の例
新しい規準で設計された建物

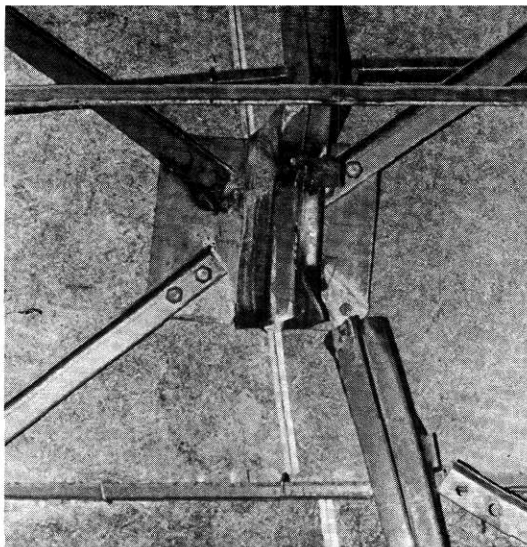


▼ 写真6 無被害学校校舎の北側の壁

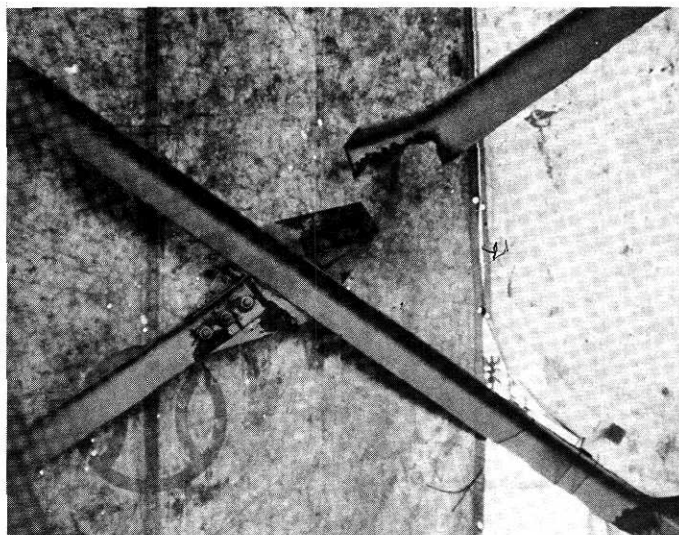




▲ 写真7 1階部分が完全に倒壊して、2階床が着地した2階建倉庫



▲ 写真8 筋違を接合していた中ボルトが破断、ガセット中央を通っている間柱も破断している



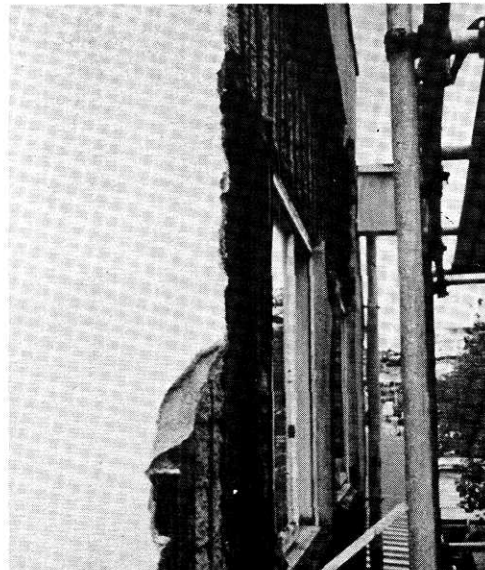
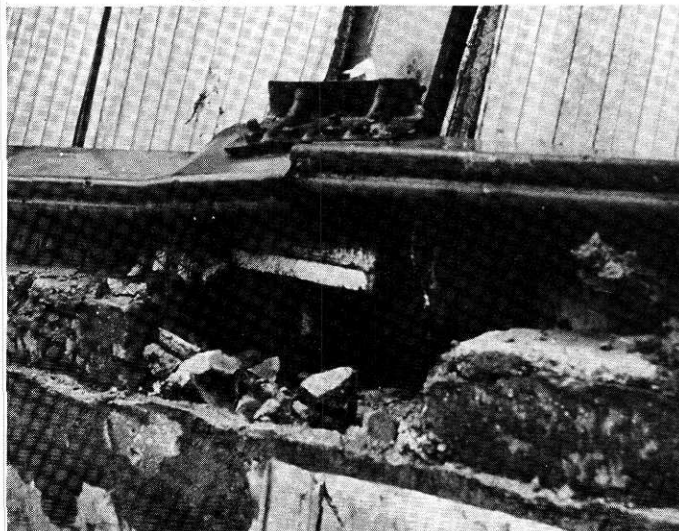
▲ 写真9 ボルト孔欠損、偏心に起因した筋違接合部の破壊

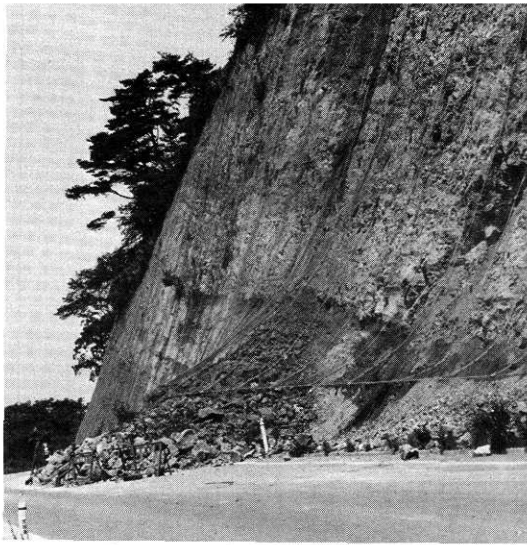
▶ 写真10 H形鋼柱弱軸方向の残留変形。柱頭柱脚に局部座屈が生じている。4階建の3階に被害が集中

▼ 写真11 アンカーボルトがねじ部で破断。十分な回転は期待できない



▼ 写真12 モルタル外壁の剥落。取付金物や針金は腐蝕によってなくなっており、外壁を固定する役に立っていない

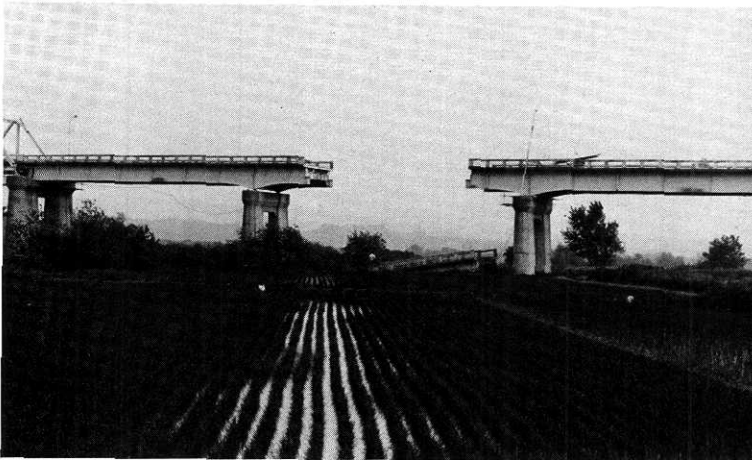




▲ 写真13 45号線のびる駅付近 法面崩落



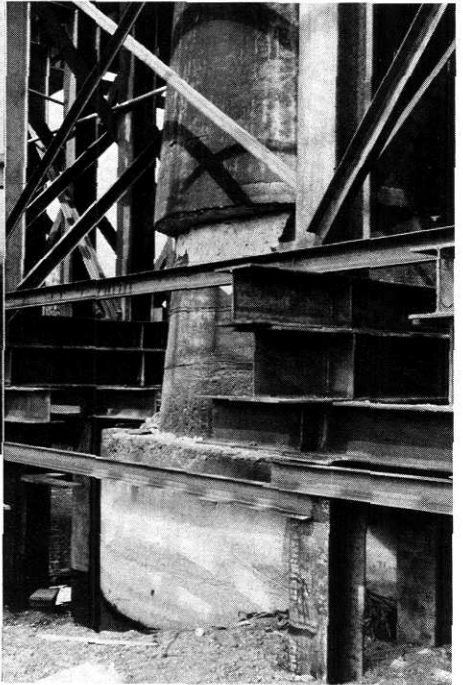
▲ 写真14 泉市南光台における盛土部 路肩崩落



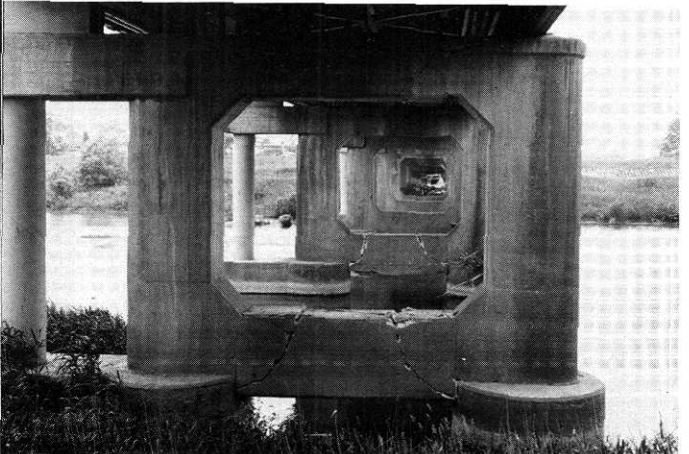
▲ 写真15 錦桜橋-落ちた吊径間(中田町-東和町)

▶ 写真16 無筋コンクリート橋脚の打継目で約30cmずれる
(東北本線江合川橋梁上り線)

▼ 写真17 桁の移動で橋の線形が曲った小野橋(鳴瀬町)

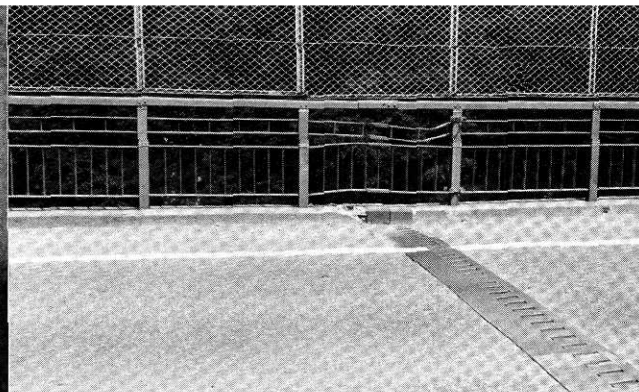


▼ 写真18 ラーメン橋脚の亀裂 江合橋(古川市)





▲ 写真19 コンクリート橋脚に生じた亀裂
(関上大橋)



▲ 写真20 ディビダーク橋の joint 部の変状で本体には被害はなかった (八木山橋)

▼ 写真21 橋脚頂部の支承部の破壊
(木間塚橋)



▲ 写真22 桁の沓座の被害
(新幹線高架橋)

▼ 写真23 全般に被害がほとんど見られなかった歩道橋

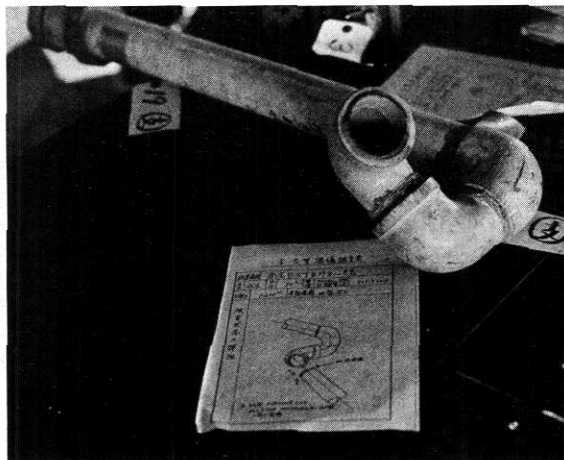


▼ 写真24 吉田川山崎堤防の緊急対策完了後の状況

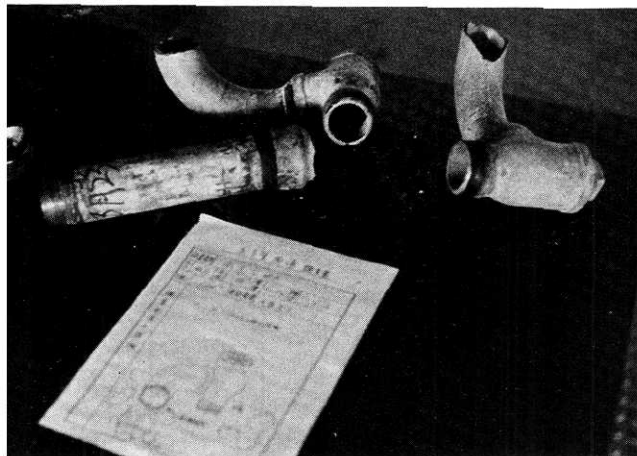




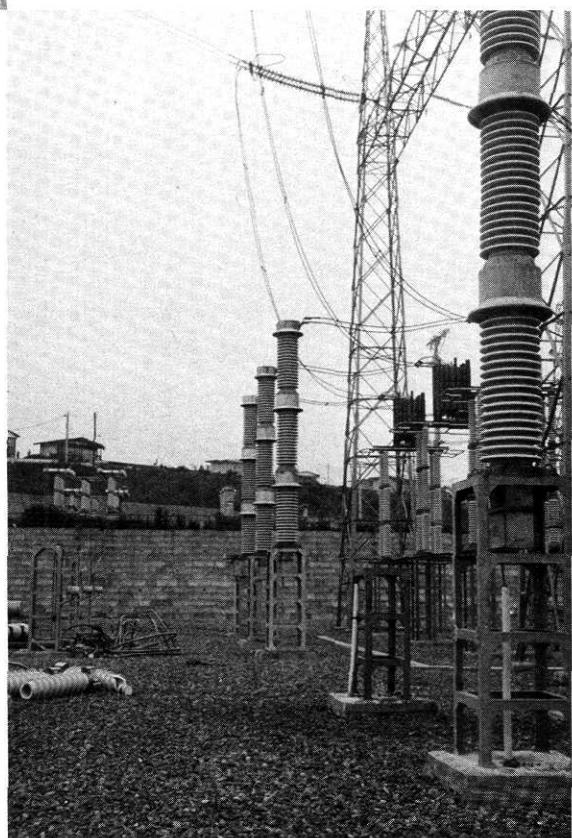
▲写真25 牛野ダム（ロックフィルダム）では上流法面の表層の捨張石が沈下した



▲写真26 ガス管（50^A 白鋼管）のネジ部折損（泉市南光台）



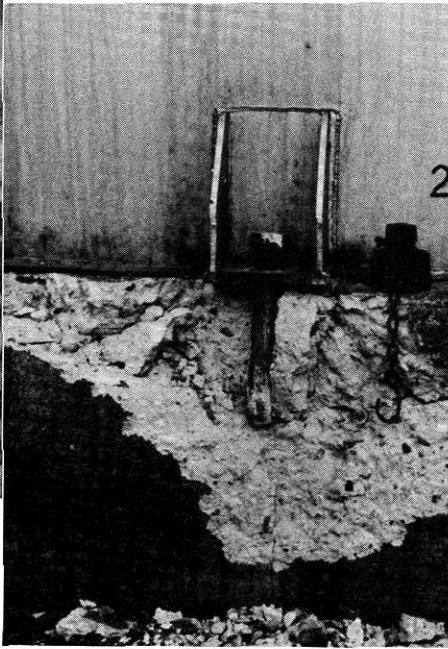
▲写真27 ガス管（50^A マレーブル）のベンドのアーム部での折損（泉市南光台）



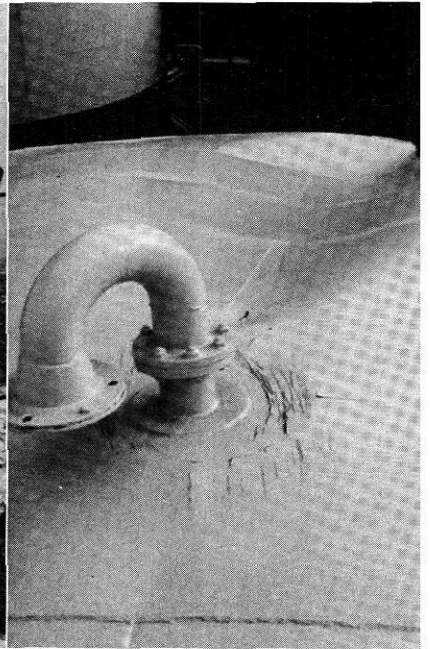
▲写真28 東北電力仙台変電所における被害-碍管の折損



写真29 東北石油 T-217の破面
このタンクは他の2基と異なり北側が一連の破損となっている。洗掘のいちばん著しい付近であり、当板も切れている。



▲写真30 塩釜、宮城石油流通センター
12.4 mφ × 18.1 mH, 2000 KL, 軽油,
12本のアンカボルト中11本がこのよう
になった

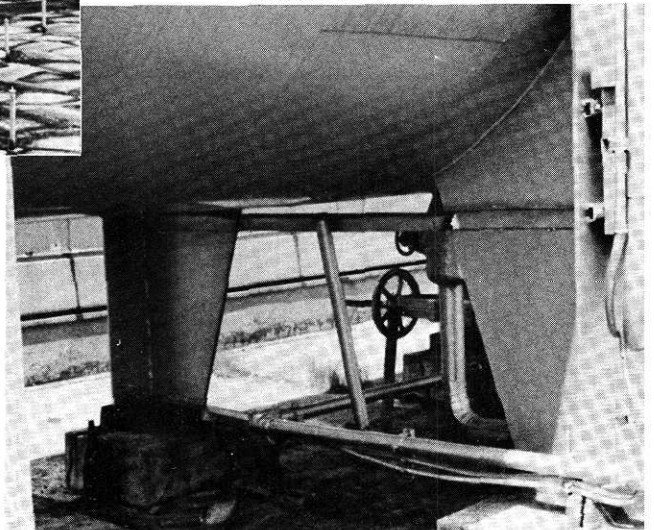


▲写真31 塩釜、大協石油油槽所,
No 6タンク 10.6φ × 11 mH, 861
KL, 重油, 液状化にある部分沈下の
結果とみられる



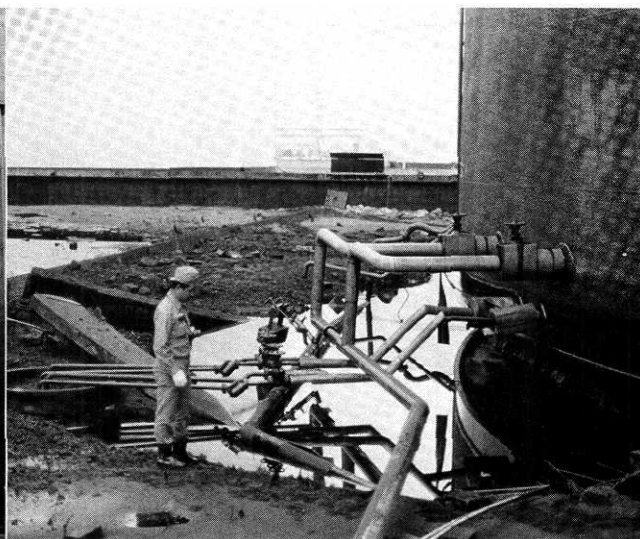
写真32 東北石油 T-2, 噴油状況。ラダーは破損して、
取り外してある

▼写真33 建屋屋上の枕型タンク, 脚損傷状況, タンク軸は鉄骨造の長手方向に設置してある



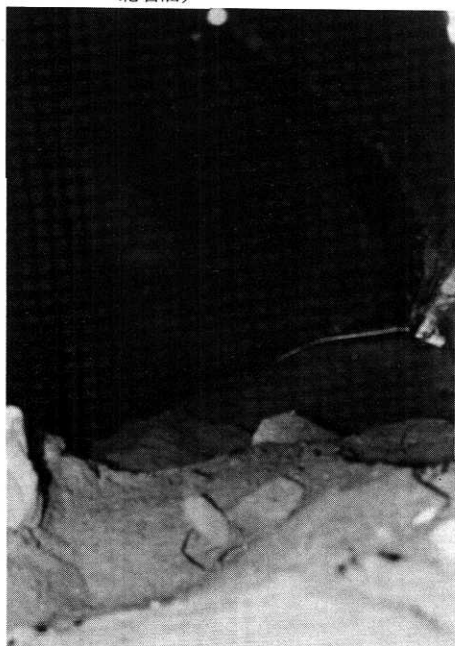


▲ 写真34 底部の破断したタンク
(手前よりT-217, T-218タンク, 東北石油)

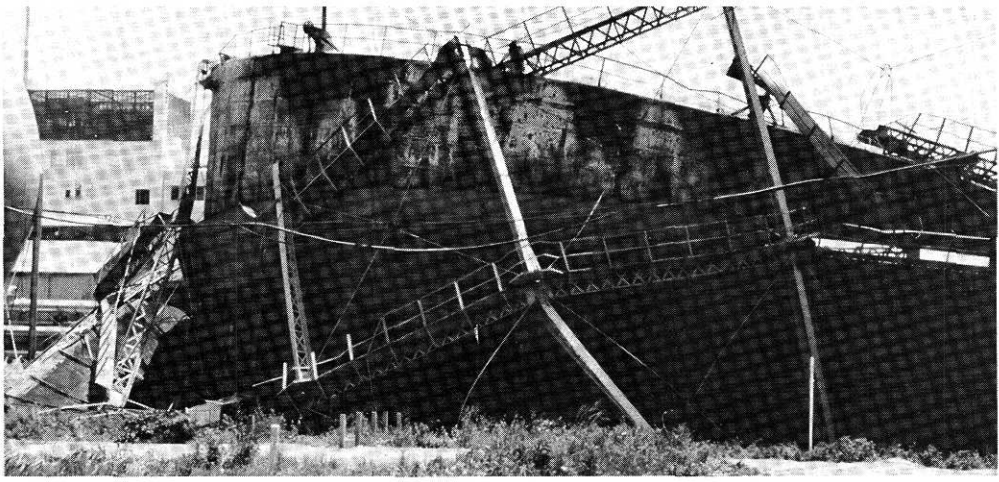


▲ 写真35 重油の流出により破損したコンクリートリングと配管
(T-217タンク, 東北石油)

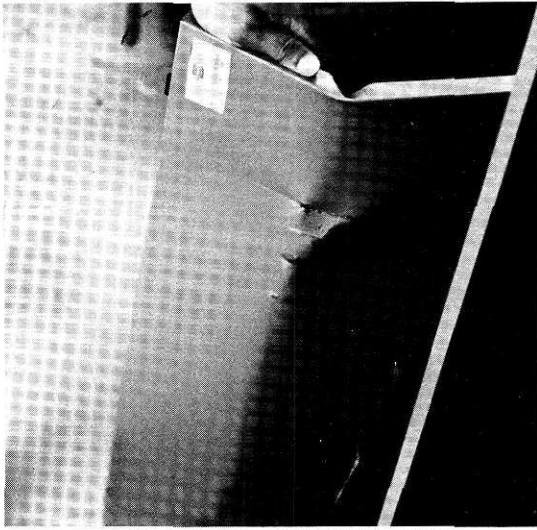
▼ 写真36 側板とアニュラープレートの溶接部
における破断 (T-217タンク, 東北石油)



▲ 写真37 東北大学理学部化学棟での薬品による出火



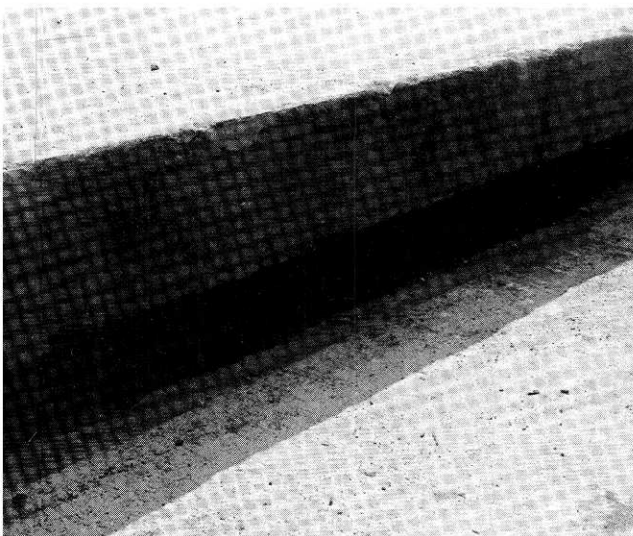
▲写真38 低圧有水ガスホルダーの破壊
(仙台市ガス局原町供給所)



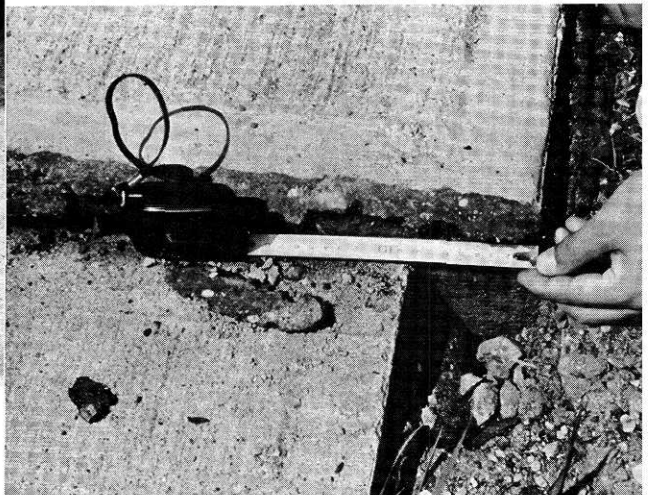
▲写真39 福島県庁の計算機側板の被害



▲写真40 相馬港第一埠頭の被害
本文図12の第一個所(福島県土木部提供)



▲写真41 相馬港第一埠頭に生じた最大段差



▼写真42 相馬港第一埠頭の端部の水平方向のズレ